



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE WEST

神戸西ワイズメンズクラブ

CHARTERED May 14th 1961

■事務局 神戸YMCA須磨プランチ 〒654-0081 神戸市須磨区高倉台4丁目12
TEL 078-734-0183 FAX 078-734-0585

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

主 題

国際会長 Philip Mathai (インド)「世を照らす光となろう」(Be the light of the world)

アジア地域会長 Oliver Wu (台湾)「歳月はYsをワイズ(賢者)にする」

西日本区理事 成瀬晃三(名古屋クラブ)「先頭に立ってワイズの光を輝かそう。クラブで、地域で、国際社会で」

六甲部部长 上野 恭男(芦屋クラブ)「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」

クラブ会長 大田 厚三郎 「設立の初心に戻り、一歩から踏み出そう」

西日本区強調月間 Kick-off EMC - C

M C の C は Conservation。クラブ発展はクラブの健全な運営と維持・存続から。

今一度、クラブが健全に運営されているかチェックしてみましょう！

米村謙一 EMC 事業主任 (熊本むさしクラブ)

今月の聖句

あなたがたは世の光である。・・・あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。

新約聖書 マタイによる福音書 5 章 14 節 ~ 16 節

2012年7月キックオフ例会(総会)

日 時 7月17日(火) PM 6:30 ~

場 所 神戸YMCA、4階、サイコー亭

開会点鐘

ワイズソング

聖書朗読・祈祷

メンバー紹介

総会

- ・ 2011活動報告 / ・ 2011会計決算報告
- ・ 2012活動計画 / ・ 2012会計予算

誕生日のお祝

事務報告

閉会点鐘

会食

6月のデータ(警報により例会中止)

在籍会員数 12 名

例会出席者数 0 名

うち会員数(事務例会含む) 0 名

会員出席率 0 %

メネット・コメント数 0 名

ゲスト・ビジター数 0 名

ファンド(これまでに西日本区へ総金した額)

・ Yサ、ユース 18,000円、

・ ユースコイン 12,000円

・ C S 12,000円

・ B F 2,000円

誕生日おめでとうございます！

(7月のお誕生日)

該当者なし

【例会にはプリテンをご持参下さい。】

報告 2012年6月例会（大雨洪水警報で中止）

日時 6月19日（火）18：30～
場所 神戸YMCA、4階、サイコー亭
内容

1. ゲストスピーチ

「中国よもやま話」

講師 鶴丹谷 剛（神戸クラブ会長）

突然の大雨洪水警報で、当日の午前中に、中止とさせていただきました。鶴丹谷会長のスピーチにつきましては、2012年度に実現をしたいと考えております。

第15回 西日本区大会 報告

第15回西日本区大会（6月9日（土）～10日（日））において、神戸西クラブは次の表彰を受けました。この50年のクラブの歴史の中でも特筆に値する表彰数です。クラブ会員の皆様のこの1年間の活動が、西日本区で認められた結果であります。このクラブのエネルギーを新年度2012年度にも引き続き発揮していきたいと思っております。感謝をもって、報告します。

1. Yサ・ユース事業 優秀クラブ賞、
2. 「Yサ・ASF自由献金」達成賞
3. 地域奉仕・環境事業 特別賞（ヘキサゴンによる東日本大震災復興支援事業に対して）
4. ノンドロップ賞、
5. クラブリーフレット配布賞

2012年7月例会（総会） 予告

日時 7月17日（火）18：30～
場所 三宮、神戸YMCA本館、4階、サイコー亭
内容 ・2011事業報告 / 会計報告
・2012事業計画 / 会計予算

東日本大震災復興支援関係の取組み

「絆の大皿」の由来

昨年、2011年3月11日に発生した東日本大震災では、改めて我々に寄り添う力と絆の大切さを実感させ、未永い継続した支援の重要性を認識している所です。この出来事に心を痛める一人として、兵庫県三田市木器（こうずき）窯の田中和人（たなか かずひと）窯元が被災者への寄り添う思いを込めて作陶し、木器の登り窯で完成させたのが本作品です。本作品は、大皿の中心部に細い窪んだ線と平坦な姿で震災の状況を表現し、周辺から国内を始め世界の人達の寄せる思いを抽象的に表しています。

この大皿は、東日本大震災復興支援への思いを同じくする大阪西ワイズメンズクラブへ約350点の作品と共に託され、皆の寄り添う心を込めて「絆の大皿」と命名されました。2012年5月10日、大阪西ワイズメンズクラブ5月例会席上、作陶者の田中和人窯元立会いの下、ヘキサゴン DBC へ贈呈。

続いてこの「絆の大皿」は、ヘキサゴン DBC より、2012年6月9日に開催された、ワイズメンズクラブ国際協会・西日本区第15回西日本区大会に於いて西日本区へ贈呈、披露され、被災地に在って支援活動を展開する仙台YMCAへ皆の思いと共に贈呈されました。

尚、木器窯の田中和人窯元から託された他の作品約 350 点は、仙台トライアングル（仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川の 3 クラブで構成）とヘキサゴン DBC（東京西・京都ウエスト・大阪西・神戸西・広島西・熊本にしの 6 クラブで構成）を主体に、東日本大震災復興支援品として活用されます。

仙台 Y M C A 総主事光永尚生氏からのお礼の手紙がありましたので、ご紹介します。

神戸西ワイズメンズクラブ会員の皆様

頌主

梅雨の季節を迎えておりますが 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたびは、ヘキサゴン D B C による仙台 Y M C A のご支援を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。皆様からのお支えで仙台 Y M C A の活動を通して支えていただいていることを覚え、今後の働きを進めてまいります。また併せて木器窯（こうづきがま）の田中和人氏による「絆の大皿」の贈呈を賜りありがとうございます。仙台 Y M C A の正面玄関に展示させていただき、地域の皆様へのお知らせといたしております。最後になりましたが、時節柄くれぐれもご自愛の上、お過ごし下さい。

平安

東日本大震災・被災幼児支援募金ご協力をお願い

仙台トライアングルとヘキサゴン DBC の両クラブ連合を中心とする協働では、東日本大震災の支援活動の一つとして、被災幼児の支援を仙台 YMCA の幼稚園への就園援助を通じて行っています。

この支援活動により、2012 年 4 月から二名の被災幼児を入園させました。

被災幼児への支援活動は、3 年間継続して行います。

今後の日程

2012 年 7 月例会（総会）（六甲部長訪問）

日 時 7 月 17 日（火）18：30～21：00

場 所 三宮、神戸 Y M C A 本館 4 階、サイコー亭

六甲部第 1 回評議会

日 時 7 月 14 日（土）14：00～20：00

場 所 東灘、レストラン「ブルーミンメドー」

内 容 1 部．評議会、2 部．講演会「平清盛と源頼朝」講師：高橋昌明氏（神戸大名誉教授）
3 部．8 クラブ納涼会

会 費 男性 6 千円、女性 5 千円

2012 年 7 月事務例会

日 時 7 月 31 日（火）19：00～20：00

場 所 三宮、神戸 Y M C A 本館 5 階、503 会議室

2012 年 8 月例会（納涼例会）

日 時 8 月 21 日（火）18：30～21：00

場 所 三宮、グリーンヒルホテル「ピアホール」

会 費 3 千円

* 他クラブに合同例会を申し込んでいます。

2012 年 8 月事務例会

日 時 8 月 28 日（火）19：00～20：00

場 所 三宮、神戸 Y M C A 本館 5 階、503 会議室

2012年六甲部会

日 時 9月8日(土)午後

場 所 芦屋、ホテル竹園

2012年9月例会

日 時 9月18日(火)18:30~21:00

場 所 三宮、神戸YMCA本館 4階、サイコー亭

訃 報

中畑 朗ワイズ(神戸西クラブ元会長、クラブ名誉会員)がご永眠

7月6日に亡くなられました。享年82歳。クラブ創立50周年の前年あたりから、入退院を繰り返され、例会出席ができなくなり、退会を申し出られました。クラブの会員が減り存続の危機の時にクラブ会長として、忍耐されました。今日クラブが存続しているのは、中畑さんのお蔭であります。クラブの功労者として、「名誉会員」の称号をおくり、感謝を表しました。7月7日(土)お通夜、8日(日)お葬儀でした。クラブから供花をお捧げしました。ご冥福をお祈りします。

B Fからのお願い

使用済み切手の担当を、山田喜代子さんが引き受けて下さいました。
毎月の例会時に、その都度、ご持参して下さるよう、お願いします。

会計からのご連絡

- * 2011年度の、会費の未納分につきまして、至急野口メンと連絡を取っていただき、納付をお願いします。
- * 例会時に2012年度第1四半期(7月~9月分)の会費9千円の納入をお願いします。
郵便振込もできますのでご利用下さい。会費についてのご相談は、野口メンまで
記号 14330 番号 8046701 口座名義 神戸西ワイズメンズクラブ

理 事 通 信 西日本区理事 成瀬 晃三 (名古屋クラブ)

理事主題 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」

Let Y'smen Light Shine before Others . In the club, in the community, in the world

ワイズメンが人々の前で、人々の先頭に立って光り輝く存在になろう。クラブにおいて、地域社会において、そして国際社会においてもワイズメン自身の満足が得られる活動をする。そのことによって各自が光り輝やこう。

[理事方針]

例会の充実度を上げる。会員相互の交流・親睦・研鑽を深める例会にしよう。求められている場(現場)で、求められていること(奉仕)を持続可能な方法(継続)で行なっていけば、必ずそれを評価し賛同し、やがて共に働いてくれる人が出てきます。これこそ人々の先頭に立って光り輝く存在になることです。特に若者に魅力ある存在になろう。またこれが会員増強につながります。

真に求められているのは何か、マーケットリサーチを確実に行う。その結果「ミッション再検討」や「新規事業開拓」が必要になるかも知れない。考えに考え抜こう。 資金的な援助をするだけではなく現場を持つ、現場に出かけよう。東日本大震災で現場を踏んだ人が帰ってから他の人と違っているのを実感しませんでしたか。現場を踏むことによって現実が分かり、そこで働くことにより満足感が得られます。 東日本大震災は継続的な支援が必要となります。被災各地で、求められていることを継続可能な方法で援助していきます。YMCAを通してのみでは出来ないことがあるかもしれません。他の組織や団体と協働する道をも考えなければなりません。

ワイズメンズクラブの醍醐味は交友関係であります。クラブの中だけではなく広く日本、アジア、世界中に交友関係が生まれます。その楽しさを是非多くのワイズメンとそのご家族に味わってもらいたい。国際的なことにも目を向けよう。我々はワイズメンズクラブ国際協会の一員です。国際憲法に則り活動しています。世界的に見れば我々日本人は幸せな国民です。東日本大震災直後多くの国から救援隊が来日し、多くの支援金が届きました。国際の事業として現在「ロールバックマラリア」があります。遠くアフリカに対する援助ですがこの国際事業を理解する機会をつくり協力をする。同様にアジアにおいても出来る活動を行いたい。

これらワイズメンズ活動するには資金がいます。献金やファンドの内容や目標を十分理解して頂き拠出を促しましょう。内容と用途を理解し、拠出のタイミングを十分に知っていただくことが重要です。

【事業別方針】

1. YMCA サービス・ユース事業

・YMCA が希望する支援を的確に把握し積極的に推進する。 ・ユースに特別目を向け、長期にYMCA と繋がって行けるよう援助する。 ・YY(YYY)フォーラムを実りあるものとして真のパートナーシップを構築する。 ・未来を担うユースが国際舞台に登場し、ステップアップする機会となります。マニラで開催されるアジア地域大会のユースコンボケーションに、各部1名以上合計10名以上の参加者を送り出したい。 ・Yサ・ユース資金の大切さについて周知してもらい拠出を奨励する。

2. 地域奉仕・環境事業

・地域から期待されている継続的な事業を推し進める。 ・新たな地域奉仕事業を模索し活動する。 ・東日本大震災に対する支援を地域奉仕事業と捉え積極的に活動する。YMCA あるいは他の組織と協働することも考える。 ・横浜国際大会で採択された地域奉仕・環境事業の諸問題への取り組みを、広報事業と共同し理解を深め実施促進を図る。また、国際事業のロールバックマラリアの啓発と実行を促す。 ・TOF・FF の理解を深め、未納クラブが無いよう働きかけると同時にTOF 例会を持つことを奨励する。 ・CS 資金について理解してもらい申請及び献金を奨励する。

3. EMC 事業

・会員数を増やすことは力となる。1クラブ会員数は15人以上にしたい。しかし会員各自がワイズメンズクラブに喜びと充実感をもって、積極的なクラブ活動をしていなくては外部の人を勧誘できません。どのように満足度を上げていくか考えたい。 ・満足度を上げる方法を2000 推進チームとの連携を密にし、きめ細かな活動ができるようにして共に考え、個々のクラブに対してもアドバイスが出来るようにする。 ・毎年100名近い入会者がいますが、同じ数が退会していく現状を打破すれば、おのずと会員数は増えていく。ノドロップ対策を考え、その一環として新入会員の定着教育を強化する。

4. ファンド事業

・BF の理解を広めることにより国際の理解を深める。 ・EF 及びJWF 献金の趣旨の理解を深めて頂けるように働きかけ、ことある毎に献金を呼びかける。 ・BF代表を西日本区から輩出し、BF事業の現状を周知してもらう。

5. 交流事業

・世界に目を向けIBCについて考えて頂きたい。既に締結しているクラブは交流が来ているか、IBC が来ていないクラブへ締結を勧める。DBCを含め既に締結しているクラブ間の交流ができていますか？ 継続交流の啓発と未締結クラブ解消を目指してワイズの真の楽しさを理解してもらおう。 ・交流を深めるためには、地域の合同例会や、部会・区大会に出席することが大切です。そのような場に多くのメンバーが出掛けるように勧める。 ・近年YEEP・STEPの活用がなされておらず、非常に残念に思う。各国からのオファーを紹介し、他国を見聞し未来を担うユースを輩出したい。

6. 広報事業

・我々が行なっている活動をワイズの内と外にタイミングよく、分かりやすい情報として流します。灯した明かりを灯の下に置くのではなく部屋の真ん中に置こう。沢山の人が見えるように、沢山の人を照らすように。そのためには内外から情報を的確に集めてもらいたい。

・またそれと同時にワイズ内への広報を通し、全事業のアピールを担ってもらいたい。

7. ネット事業

・メネット会は無くともメネットがクラブの例会に参加出来るように促してもらいたい。各地区での合同メネット例会を奨励します。

神戸YMCAマンスリーレポート

1、ちとせ幼稚園バザー、開催

去る6月2日(土)には、ちとせ幼稚園のバザーが絶好の天候の中、開催され、1000人を越える園児、保護者、卒園児などが来場し、賑やかでした。いつもながら、幼稚園のバザーはお母さんたちが活躍され、中にはお父さんで頑張ってくださいの方々も見られました。東日本支援Tシャツを販売に来てくださった学園都市ワイズの方々のご奉仕もうれしいことでした。

2、第138回全国YMCA総理事会、開催

6月17日(日)・18日(月)に東山荘において、全国総理事会が開催されました。関係する部分だけ掻い摘んで報告します。

1)東日本大震災関連

- ・仙台、石巻、岩手県宮古の3箇所に拠点が置かれ、スタッフが常駐して活動が継続されています。
- ・石巻は東京YMCAが支援し、商店街に拠点が与えられました。・同盟が「YMCA 救援復興支援活動レポート」という冊子を作成し、まもなく100部送られてきます。ご希望の方は本部事務局までお申し出ください。またDVDも作成され、有効活用が期待されています。
- ・救援募金は総額では目標に達しましたが、被災YMCA支援の募金が目標を大きく下回っています。仙台、盛岡YMCAを支援する募金をこれからでも少しでも集めましょう！

2)国内関係

- ・チャリティーランの大会委員長が今までのチャック・ウィルソンさんから、マラソンの有森裕子さんに代わります。有森さんはスペシャルオリンピクス(SO)の理事長でもあり、SOとの関係が強くなる可能性があります。
- ・北海道YMCAで新たに発達障がい支援事業として「障がい児デイサービス」事業を始められた報告がありました。神戸の「たんぼぼクラブ」と似ていますが、今後の発展が期待されるようです。また、熊本YMCAでは、高校中退者やニートの若者の就労支援のための活動を開始され、「若者サポートステーション」として厚生労働省から委託を受けて、事業を展開しておられます。就職相談やアルバイト相談、資格取得などの相談事業やイベントなどを実施しています。

3)国際関係

- ・東日本大震災の影響で国際協力募金が少なくなっています。アイデアを絞って集めたいと思います。ご協力をお願いします！
- ・10月13日(土)は世界各国で「ワールドチャレンジ」の日として、世界のYMCAにおいて500万人のユースがバスケットボールのシュートやそれに類する活動をし、ユースのエンパワーメントを象徴したいという提案がなされています。さて、神戸でどのように取り組むか、検討したいと思います。
- ・中国YMCA全国協会が今年で100周年を迎えられ秋に式典があります。また、それに合わせて、全国協会の理事長、総理事が代わります。

3、今後の予定

1) 第25回チャリティーワインを楽しむの会

南欧風の明るく開放的なバンケットでポートピアホテル総料理長が厳選した食材と料理を楽しみ、岡本博文ソムリエがワインを選んでくださいます。ご参加ください。

日 時: 7月27日(金)午後6:30~8:30

場 所: 神戸ポートピアホテル南館4F「レヴァンテ」

テーマ: 「盛夏を楽しむワインと料理」

会 費: 10,000円

申 込: 本部事務局に7月5日(木)までに

以 上。